

先輩・上野裕寿四段らの教え 大切に

将棋部員、近畿や県で躍進



加古川北高

加古川北高校(加古川市)の囲碁・将棋部が、近畿大会や県大会で入賞を果たし、奮闘を続ける。今年、将棋のプロに昇格し活躍する上野裕寿四段

「もっとと練習を」一層の精進誓う

(20)の母校でもある同校。現役生は先輩たちから教わったことを大切にもつと強くなりたい」と意気込む。

同部は現在、初心者から有段者まで男女5人が在籍。部員数は少ないが、互いに切磋琢磨し腕を磨く。幼い頃から加古川市在住のプロ棋士井上慶太九段主宰の道場「加古川将棋倶楽部」に通う部員もいる。

引退した3年生の芝原功輝さん(17)と迫川広行さん(18)が1年生の時、上野さんが3年生として在籍していた。2人は大きな背中を追ひ、鍛錬を重ねてきた。

高校の集大成として挑んだのは1月

近畿大会に出場するなど快挙を続ける加古川北高校の囲碁・将棋部の2、3年生ら。加古川市野口町水足、加古川北高校

に三重県津市で開催された「第43回近畿高等学校総合文化祭」。2人は10月の県大会で入賞し、男子個人戦のS級に芝原さん、同A級に迫川さんが出場。それぞれ予選リーグは負けなしで、シードで決勝トーナメントに駒を進め、芝原さんは5位、迫川さんは3位入賞を果たした。

2人は「結果に満足はしていないが、仲間や先生、先輩のおかげで着実に結果を積み重ねることができた」と感謝をかみしめる。

2年生の井口颯人さん(16)、泉暁人さん(17)、角野甲乙さん(17)の3人は「県総合文化祭」の団体戦で3位に入賞。県内から24チームが参加し、有段者がそろった強豪雲雀丘学園高(玉塚市)や灘高(神戸市)を破り、勢いに乗った。

部長の角野さんは「それぞれ少しずつ力を付けている自信はある。粘って駒をさばけるよう練習を積みみたい」とさらなる進撃を誓った。(見玉葉友)